

## 87 働く女性が増えています

平成30年11月15日掲載

皆さんは「M字カーブ」という言葉をご存知でしょうか。

女性の有業率（15歳以上人口に占める有業者の割合）を年齢階級別にみると、一般的には、学校卒業後就職する20歳台で上昇し、出産、育児期の30歳台で低下、子育てが落ち着いた40歳台で再び上昇するという特徴があり、これをグラフで表すとアルファベットの「M」の字に似ていることからM字カーブと呼ばれています。

今回はこのM字カーブで知られる女性の有業率について、今年7月に公表された総務省の平成29年就業構造基本調査の調査結果から見てみます。

山口県の女性の年齢階級別有業率を前回平成24年の調査の結果と比べると、グラフの通りほぼ全ての年代で有業率は上昇しており、全体的に底上げされています。

また、ほとんどの年齢階級で有業率は全国より高くなっており、低くなっている二つの年齢階級である25～29歳と30～34歳でも前回と比べそれぞれ3.2ポイント、4.5ポイント上昇しています。

特に、育児をしている女性の有業率は51.2%から65.1%と13.9ポイント上昇しており、前回からの上昇幅は全国9位と、育児をしながら働き続ける女性の割合がかなり増えていることが分かります。

山口県でも女性が働きやすい環境づくりが着実に進んでいると言えるのではないのでしょうか。

